

西がすや 議会だより

9月議会号

次回 12月 議会は…
12月2日(金) 9:30
5日(月) 9:30 } 一般質問予定
6日(火) 9:30 }

平成27年度 決算および 4
平成28年度 補正予算

子ども議会 13

一般質問10人 14

町民ひろば 24



NO.142 平成28年11月7日発行

平成28年第3回9月定例会は、9月2日から26日までの会期で開催されました。

平成27年度決算は賛成多数で認定、平成28年度補正予算審議も賛成多数で可決されました。

賛否表はP3を参照してください。

平成27年度 一般会計決算

平成27年度は黒字決算でした。

実質公債費比率11.4% (*)

改善された粕屋町

今後は11%以下で推移していく予定

(*) 18%以上は、地方債の発行に知事の許可が必要

歳出 139億6,829万円

前年度比 4億6,970万円の増額

決算特別委員会

平成28年度 一般会計補正予算

補正額 3億3,316万円

予算総額 143億5,034万円

前年度比 7億1,225万円の増額

予算特別委員会

9月定例会における、主な議案に対する 各議員の賛否結果一覧

議案名	粕屋フォーラム駐車場の料金改正について ひとり親家庭等医療費の支給について 家庭的保育事業等の設備及び運営基準の緩和について 平成28年度粕屋町一般会計補正予算 平成28年度粕屋町国民健康保険特別会計補正予算 平成28年度粕屋町後期高齢者医療特別会計補正予算 平成28年度粕屋町介護保険特別会計補正予算 備品購入契約の締結(第五分団消防自動車) 平成27年度粕屋町一般会計歳入歳出決算の認定 平成27年度粕屋町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 平成27年度粕屋町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 平成27年度粕屋町水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算の認定 平成27年度粕屋町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定													
	議案番号	45号	46号	47号	48号	49号	50号	51号	54号	55号	56号	57号	58号	60号
所 属 委 員 会	採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
	議場(賛成/反対)	11/4	15/0	12/3	13/2	15/0	13/2	15/0	15/0	14/1	13/2	13/2	15/0	15/0
	付託委員会	総務	厚生	厚生	予算	予算	予算	予算	総務	決算	決算	決算	決算	決算
総 務	山脇 秀隆 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小池 弘基 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊藤 正	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本田 芳枝	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	川口 晃	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○
建 設	長 義晴 正	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	八尋 源治 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	太田 健策	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安河内勇臣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中野 敏郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
厚 生	久我 純治 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福永 善之 副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	田川 正治	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	木村 優子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安藤 和寿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 長	進藤 啓一	議長は、採決に加わりません。												

☆議案名については、解りやすい文言に置き換えています。

提出された陳情書

件 名	提出者	結 果
小規模保育施設設置に関する陳情	はらっぱ保育園 園長 佐伯 謙一	採択
玄海原発事故への備えとして安定ヨウ素剤の町民への事前配布を求める陳情	今を生きる会 代表 小林 榮子 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 代表 石丸 初美 プルサーマルと佐賀県の100年を考える会 共同世話人 野中 宏樹	不採択

総務常任委員会

経営政策課

① 行財政改革推進事業

予算額 152万円
執行額 101万円
(主な内訳)

印刷製本費 88万円

平成28年度から平成37年度までの長期的な町づくりの指針となる第5次粕屋町総合計画の策定を平成26年度から着手し、当年度で策定を完了した。

基本構想 平成26年6月策定
基本計画 平成27年12月策定
計画書製本 平成28年3月
(概要版を全戸配布)

② 行財政推進事業(繰越明許)

予算額 1,953万円
執行額 1,724万円
(主な内訳)

第5次総合計画・総合戦略策定
委託料 1,417万円

総合計画指標設定及び戦略用として、18歳以上の町民3,000人を対象として町民意識調査を行った。

③ 電算管理事業

予算額 6,041万円
執行額 3,522万円
(主な内訳)

委託料 786万円
使用料及び賃借料 1,882万円

情報セキュリティポリシーに基づき、町が保有する情報資産を適切にし、また、組織的な情報セキュリティ対策を講じる事業。当年度はマイナンバー付番の住民記録システムを含む基幹系システムについて、物理的に分離する対応を実施した。

④ 電子自治体推進事業

予算額 1億3,892万円
執行額 1億3,707万円
(主な内訳)

委託料 4,943万円
使用料及び賃借料 8,083万円

平成29年7月から国・地方公共団体との情報連携が開始した際に利用する自治体中間サーバーへの接続端末等の設置を行った。

協働のまちづくり課

① ふるさとづくり寄付金(収入)

予算額 760万円
収入額 702万円

学校教育課

① 学童保育所運営事業

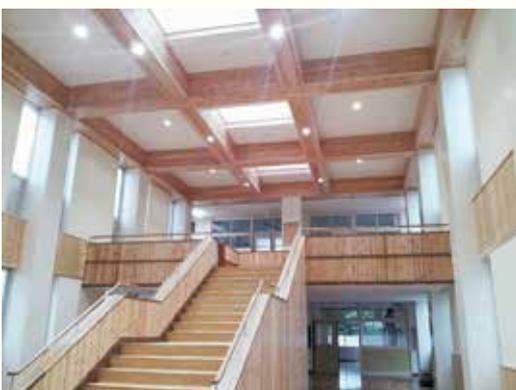
支出済額 4,602万円
学童保育所運営のため、職員の賃金と光熱水費などに使用した。

② 小学校施設整備事業

支出済額 4億6,832万円
粕屋西小学校校舎増築工事 3億4,549万円
小学校非構造部材耐震化工事 9,623万円

③ 中学校施設整備事業

(平成26～27年度繰越明許)
支出済額 2億8,014万円
粕屋中学校第3期大規模改造工事 2億7,756万円



粕屋中学校第3期大規模改造工事

④ 人的支援の充実

臨時職員を小学校20人、中学校5人配置した。支援補助、習熟度別学習やチームティーチングを実施した。
小学校の外国語活動や中学校の英語活動でALT(外国語指導助手)を派遣した。

⑤ スクールソーシャルワーカーの活用

全6校で480時間超活用し、不登校児童・生徒の家庭への働きかけをした。

厚生常任委員会

総合窓口課

① 広域サービス事業

平成27年11月全世帯にマイナンバーをお知らせする通知カードを送付しました。

また、平成28年1月よりマイナンバーカードの窓口交付を開始しました。

② 国民健康保険事業

今年度は、4,736万円の黒字となり、平成26年度の198万円の赤字から大幅に改善しました。
(赤字解消の主な要因)

- ・ 医療費の減少と基盤安定負担金の対象が拡大し、負担金が増額され、一般会計からの法定繰入が増額になったため
- ・ ジェネリック医薬品の普及促進を図り、

医療費削減に努めたため

③ 後期高齢者医療事業

2,707万円を次年度に繰り越しました。福岡県広域連合への納付予定額2,504万円を差引いても、実質収支を黒字とすることができました。

介護福祉課

① 町営住宅管理運営事業

町営住宅甲仲原団地の屋根断熱防水・外壁改修工事

5,065万円

② 介護保険特別会計

150万円を次年度に繰り越しました。保険事業・介護サービス事業勘定とも黒字決算となりました。

③ 元気高齢者支援事業

温泉利用料補助事業として、利用補助券を延べ722名に交付しました。(対象70歳以上、年度最大11枚/人)

129万円

健康づくり課

① 高齢者肺炎球菌予防接種助成事業

平成26年度より定期予防接種実施となりました。

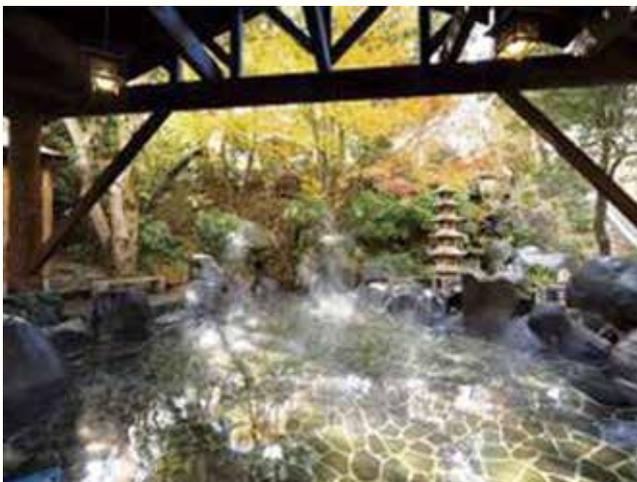
② 乳幼児療育事業

発達ルームつくしんぼの後期教室を追加し、週2回から週3回としました。発達ルームこん

ぺいとうの臨時指導員を追加し、対象者人数を増やしました。

子ども未来課

待機児童ゼロを目指して、はこぶね認定こども園、星の子保育園の2園を開設し、保育定員260名の増員を行いました。ゼロには至りませんでした。平成28年4月現在57名の待機児童。



久山温泉[ゆめか]

建設常任委員会

都市計画課

①緑化推進事業

予算額 5,618万円

執行額 5,334万円

(主な内訳)

委託料 3,384万円

公園管理につきましては、公園遊具の点検修理や樹木の剪定

②駕与丁公園管理事業

予算額 1億3,657万円

執行額 1億2,092万円

(主な内訳)

水鳥橋撤去含 6,419万円

通常の管理に加え外灯の増設、LED化による省エネ推進

③住居表示事業

予算額 638万円

執行額 614万円

(主な内訳)

委託料 604万円

都市と自然が調和したゆとりある町づくりとして戸原区、長戸区の一部の区域で住居表示事業を行いました。

道路環境整備課

①下水路整備事業

予算額 800万円

執行額 788万円

(主な内訳)

工事請負費 788万円

地元要望の下水路浚渫及び側溝閉塞による溢水防止に対応し、水路、側溝の回復を実施している。

②道路維持修繕事業

予算額 8,950万円

執行額 8,911万円

(主な内訳)

委託料 7,908万円

地元要望や道路陥没補修につきまして、即時対応を実施致しております。

③交通安全施設整備事業

予算額 4,354万円

執行額 4,317万円

(主な事業)

工事請負費 3,616万円

特別交付金を活用し、道路付帯物(防護柵、カーブミラー等)の新設改修を行っております。

地域振興課

①広域消費生活センター運営事業

予算額 127万円

執行額 125万円

(主な内訳)

負担金補助及び交付金 125万円

「かすや中南部広域生活センター」を平成27年4月1日に開設し、相談件数は、928件でした。

②地域振興事業

予算額 3,420万円

執行額 3,378万円

(主な内訳)

負担金補助及び交付金 1,377万円

花火大会補助金と企業協賛金を募り、開催することができ、町民は楽しまれたことと思えます。



花火大会

平成28年度 補正予算

総務常任委員会

経営政策課

(歳入)

① 行財政調整基金繰入金

補正前の額 4億3,000万円
補正額 △2億円

(歳出)

② 繰越金
補正前の額 3億円
補正額 6億3,244万円

(歳入)

③ 総務債
補正前の額 5億1,500万円
補正額 2,564万円

臨時財政対策債発行可能額
5億4,064万円

(歳出)

① 流域関連公共下水道補助金

補正前の額 5億4,000万円
補正額 1億3,000万円

合計6億7,000万円は流域関連公共下水道事業会計への補助。

厚生常任委員会

介護福祉課

(歳出)

① 元気高齢者支援事業

補正前の額 3,460万円
補正額 63万円

(主な内訳)
・ 温泉利用者増加のため
補正額 30万円

・ うておうて塾新規開催地区3地区増加のため
補正額 20万円

② 福祉センター管理運営事業

・ 福祉センター1階ロビー空調機器取替工事
補正前の額 2,623万円
補正額 257万円

③ 町営住宅管理運営事業

補正前の額 777万円
補正額 116万円

(主な内訳)

・ 朝日団地空家修繕料
補正額 84万円

子ども未来課

(歳出)

① 町立保育所運営管理事業

補正前の額 2億4,402万円
補正額 714万円

(主な内訳)

・ 仲原保育所屋根防水改修工事
補正額 702万円

建設常任委員会

都市計画課

(歳出)

① バラ祭り事業

補正前の額 310万円
補正額 △110万円

熊本地震を考慮しバラ祭り縮小による減額

道路環境整備課

(歳入)

① 土庫補助金

補正前の額 6,325万円
補正額 △3,972万円

社会資本整備総合交付金減額のため

② 道路改良新設事業

(歳出)

補正前の額 2億1,082万円
補正額 △7,000万円

町道改良新設工事減額のため

地域振興課

(歳出)

補正前の額 18万円
補正額 18万円

扇上堰用水施設維持管理基金清算金

議案に対する各常任委員会の審議

総務常任委員会

①長者原西駐車場(フォーラム駐車場)の料金改正

現在3時間迄無料となっている駐車料金を12月1日より、1時間迄無料に変更となりました。1時間を過ぎると1時間ごと100円ずつ加算されます。

なお、図書館、歴史資料館の利用者は今まで同様3時間迄無料です。

この料金改正におきまして年間で120万円の収入増を見込んでいます。

②粕屋町消防団第5分団(長者原上区、中区、下区)の消防ポンプ自動車の購入

現状の消防ポンプ自動車は平成8年2月に購入し20年を経過しており、この度、装備の老朽化に伴い、買替を行ないます。

納車は平成29年2月の予定です。

落札金額は約1,690万円(税込)です。

③粕屋町男女共同参画審議会メンバーが決定しました。

粕屋町男女共同参画審議会について

(1)粕屋町男女共同参画審議会とは

※粕屋町男女共同参画推進条例抜粋

(男女共同参画審議会)

第21条 男女共同参画の推進を図るため、地方自治法(昭和22年法律第67条)第138条の4第3項の規定に基づき、粕屋町男女共同参画審議会(以下「審議会」という。)を置くものとする。

審議会は、次に掲げる事務を行う。

- (1)町長の諮問に応じて、計画の策定及び変更に関して調査審議し、意見を述べること。
- (2)計画に基づく施策の実施状況について報告を受け、必要に応じて、町長に意見を述べること。
- (3)その他男女共同参画の推進に関する重要な事項に関して調査審議し、町長に意見を述べること。

※男女共同参画計画抜粋

推進体制の整備

(1)町民と協働した推進体制

有識者、団体代表、町民からの公募等の委員で構成する粕屋町男女共同参画推進協議会(仮称)を立ち上げ、粕屋町における男女共同参画社会の実現に向けて、各施策等の進捗状況の点検を行い、必要に応じて町長に意見を述べます。

(2)男女共同参画審議会委員名簿

任期：平成28年8月17日から平成30年8月16日まで

*敬称略

氏名	性別	役職等	備考
武藤 桐子	女	NPO法人福岡ジェンダー研究所研究員 九州共立大学等 非常勤講師	有識者
阪井 俊文	男	北九州市立大学等 非常勤講師	有識者
麻田 春太	男	一般町民	公募
阿部美也子	女	一般町民	公募
伴 世津子	女	粕屋町婦人会長	町内団体等
古家 昌和	男	粕屋町子育て応援団 父親の育児参加チーム	町内団体等
吉田 恵子	女	西部ガスエネルギー株式会社 総務部	町内団体等 (町内企業)
長 義則	男	粕屋町教育委員会 人権教育啓発担当	
山田 由紀	女	粕屋町役場 総務課庶務人事係主幹	

(3)今後のスケジュール

平成28年11月末頃 平成28年度第2回
男女共同参画審議会開催予定

協議事項

平成27年度における各施策の進捗状況の点検
と評価ほか

※平成29年度前半に次の審議会を開催予定

ひとり親家庭への支援が手厚くなります。

1 経過及び改正理由

- 経済的に厳しいひとり親家庭の支援を手厚くするため、児童扶養手当の第2子以降の加算額を倍増し、第2子は最大1万円、第3子以降は最大6千円となります。今年8月1日から施工し、12月に支給する8月~11月分から適用されます。
- 児童扶養手当の加算額について、基本額と同様に、それぞれのご家庭の「所得に応じて」加算額が決定されます。

平成28年8月から

加算額が、増額されます。

- 【第2子】月額5千円→最大で月額1万円に
- 【第3子以降】月額3千円→最大で月額6千円に

平成29年4月から

物価スライド制を導入します。

- 物価の上下に合わせて支給額が変わる「物価スライド制」を、児童扶養手当の加算額にも導入します。

所得制限限度額表

(単位：円)

扶養親族等の数	請求者本人		孤児等の養育者 配偶者 扶養義務者
	全部支給	一部支給	
0人	190,000	1,920,000	2,360,000
1人	570,000	2,300,000	2,740,000
2人	950,000	2,680,000	3,120,000
3人	1,330,000	3,060,000	3,500,000
以降1人につき	380,000 加算	380,000 加算	380,000 加算
加算額	老人控除対象配偶者又は老人扶養親族 1人につき 100,000 特定扶養親族又は16歳以上19歳未満の 控除対象扶養親族1人につき150,000		扶養親族が2名以上で、うち老人扶養親族がある場合、老人扶養親族1人につき(扶養親族が老人扶養親族のみの場合は1人を除いた1人につき) 60,000

※諸控除の額

- 障害者控除、勤労学生控除…270,000円
- 特別障害者控除 …400,000円
- 配偶者特別控除、医療費控除等…住民税で控除された額

粕屋町家庭的保育事業の条例が一部改正されました。

家庭的保育事業等における保育士の確保が困難な状況に対処するため、保育士配置要件の緩和を図ること及び避難用設備の構造要件が見直されました。

- ・保育士の数の算定について、「准看護師」が加えられました。
- ・4階以上の階の屋内における特別避難階段の設備基準について、国土交通大臣が定めた構造方法(仕様規定)を用いたものに限るとされていましたが、加えて、国土交通大臣の認定(仕様規定と同等以上の性能を有していること)を受けたものも可となりました。

粕屋町に小規模保育を 設置すること 採択

反対者(1名)	賛成者(14名)
伊藤	安藤 中野 木村 川口 安河内 太田 福永 小池 田川 長 久我 本田 山脇 八尋

陳情者

佐伯 謙一氏 (粕屋町在住)

…粕屋町で届出保育園を運営されている

陳情の主な理由

国は『こども・子育て支援制度』による待機児童解消の方策として、各自治体に『0～2歳児を対象にした、小規模保育施設の設置』を推奨している。

粕屋町の待機児童は、0～2歳児の需要が多く、働きたくても預入先がない等、困っておられる子育て世帯が潜在的に存在していると考えられます。

児童福祉法第24条には、各自治体に対し、小規模保育等の提供体制の確保義務をうたっております。

粕屋町は、待機児童解消に効果的な小規模保育の設置をしてほしい。

待機児童数	
0才	7
1才	23
2才	15
3才	8
4才	4
5才	0
合計(人)	57

2016年4月末の調査結果

賛成討論

久我 純治

行政は小規模保育所に対して前向きに検討しているというがそうは見えない。今ある町立保育所を民営化または町立でも建て替える場所・費用と時間がかかりすぎる。

待機児童が多いなか、町内で小規模保育所を認めて解消対策としてほしい。県の示す建物等の規約も通っており、連携保育所が見つからないだけで、それは行政で何とか考えてほしい。

賛成討論

本田 芳枝

粕屋町の待機児童対策が明確でないことが、このような陳情が出る原因だと思ふ。

今までは、大型の保育施設を作ることで解消できたが、少子化は粕屋町でも例外ではないので、簡単には無理。

既存の幼稚園や届け出保育所も活かしながら、若い保護者のニーズに応えられる未就学児の保育環境、計画を作ることが先決だ。

頑張っている事業者で、選択肢の一つとして有用なので賛成する。

賛成討論

中野 敏郎

前向きなベクトルをもった人がでたら役所は支援すべき。

これが私の賛成理由である。彼には情熱があります。でなければこの議場であれだけの発言などできません。

あなたの身近な声を議会へ投げかけてみませんか？

例えば、ある町民は、粕屋町役場の仕事のなかで、『ああしてほしい』という考えがあります。

身近に相談する人がいない、役場と折衝する時間もない、議員にお願いするのは敷居が高い等、結局は、あなたの声が役場に届かないのが現実ではないでしょうか。

そんな時に、文書で議会に議題を上げることができます。

それが、陳情書。
あなたの声が全部通るとは断言できませんが、あなたの意見を議会の中で審議する手段の一つが陳情書です。陳情の書き方は、役場3階の議会事務局でも教えてくれます。待っています。

採択した陳情の効力について…

『陳情の採択』とは、議会が陳情内容に賛成であるという意志表示であるが、その願意の実現について法律上の保証規定がない。

しかし、採択した以上、議会は、その実現について努力をすべき政治的・道義的な責任を負うことになる。

玄海原発事故への備えとして、安定ヨウ素剤を町民に事前配布すること

不採択

賛成者(2名)	反対者(13名)
川田 口川	安藤 中野 木村 安河内 太田 福永 小池 長久我 本田 伊藤 山脇 八尋

陳情者

- 今を生きる会(福岡市)
- 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会(佐賀市)
- プルサーマルと佐賀県の100年を考える会(佐賀市)

陳情の主な理由

東京電力福島第一原発事故は大量の放射性物質をまき散らし、住民の命や暮らしに甚大な被害をもたらした。数多くある核物質の中で、唯一、放射性ヨウ素は、安定ヨウ素剤を服用することで体内への取り込みを阻止し、甲状腺を守ることができます。甲状腺被爆の影響は特に乳幼児が大きいと言われており、国は各自治体に対し、30キロ圏内の3歳未満児にヨウ素剤を配布することを進めております。粕屋町においても、原発事故が起きた時に住民の命を守る最低限の備えとして、安定ヨウ素剤を事前配布されたい。

反対討論

山脇 秀隆

今回の陳情書の目的は、粕屋町民に事前にヨウ素剤を配布することからいくつもの問題点があります。服用の仕方が多岐にわたっていて、万が一服用の仕方を間違えば危険で効果がないことなど住民に丁寧な説明が必要でです。

賛成討論

川口 晃

日本鑄鍛鋼製の压力容器の『強度不足』が懸念され、この社製の压力容器を使用している玄海原発2・3・4号機は絶対安全とは言えません。福島県の甲状腺調査によれば、1巡目は受信者数は約30万人、悪性・悪性疑いが115人。手術後に甲状腺がんが確定が101人。この数値と比較すると約200倍の発生率になります。粕屋町は玄海原発から50〜60kmの位置にあります。備えあれば憂いなし。

反対討論

中野 敏郎

安定ヨウ素剤を配布されたからといって、『備えあれば憂いなし』ということにはならない。火元の原発はあまりにも大きな存在でありすぎる。原発を止めても電力不足にならない。すべて止めるべきである。

反対討論

本田 芳枝

安定ヨウ素剤を配布する経費をそのまま、福島で続いている放射線被害による甲状腺がん検査・対策等に使うべき。有用とは思いますが、まず経費が必要で粕屋町が配布するとなれば100万円以上はかかるとのこと。国の方針が変わり、粕屋町の防災計画(原子力災害対策編)でも検討しないことになった。安定ヨウ素剤の賞味期限は3年。各家庭、各自で服用しなければならず、実際どこまでできるのか。有用と思う住民が自ら薬局で買い求め備蓄する、そのための優遇措置が国から出るような仕組みを作るべきで、一自治体の手には負えない。現時点では反対だ。

視察 あれこれ!



粕屋町議会には、3つの常任委員会があり、毎年1回、それぞれの委員会が先進地視察を行っております。視察費用は、議員一人当たり予算最高8万円。

なお、全国の地方議会で「政務活動費(各議会により支給額は異なる)」の不明朗な支出が世間の感心を呼んでおりますが、粕屋町議会には、この費用はありません。

※建設常任委員会視察は、10月24・25日に行いました。(次回 紙面に掲載予定)

総務常任委員会(平成28年7月28日～29日)

●参加人数

11名(内訳：議員9名・職員2名)

●総費用

735,361円(66,851円/人)

●視察先

①三重県四日市市

②愛知県知多郡武豊町

●目的

①国指定史跡「久留倍官衙遺跡」について

四日市市内にある「久留倍官衙遺跡」は、一般国道一号线北勢バイパスの整備計画地にあり、既に埋蔵文化財包蔵地として知られていました。平成14年に正倉院の一部が確認され、国史跡として指定されました。

バイパスをどう施工するか。どのように文化財として保存すべきか協議が行われました。現在、本町でも九大農場で遺跡が見つかり、また県道整備地区でもあるため、今後どのように進めていくべきか視察を行いました。

②武豊町における生涯学習の取組について

武豊町は本町と同じような人口規模の町でありながら、行政主導ではなく、NPOが中心となっており、子どもたちの体力向上と健全育成を目指し、事業が行われています。本町でも同じような取組みができないかを念頭に視察を行いました。

厚生常任委員会(平成28年8月3日～4日)

●参加人数

8名(内訳：議員6名・職員2名)

●総費用

628,960円(78,620円/人)

●視察先

①千葉県千葉市イオンゆめみらい保育園

②東京都杉並区

●目的

当委員会では「待機児童解消」方策の模索が今視察のテーマでした。

①事業所内保育施設の運営等について

イオンゆめみらい保育園は、事業所内保育所だけではなく、小規模保育園として認可を受け地元自治体(千葉市)の児童を受け入れています。当町も酒殿地区にイオンモールがあり、今後その実現性が高いことから、視察を行いました。

②公設子供園の運営等について

杉並区も待機児童が多く、その解消に苦慮されており、区独自の方法で解消に向け、様々な方針を実行に移していました。視察を行った高井戸西子供園はその一環であり、当町でも実現可能かを中心に視察を行いました。

開催日時

平成29年1月28日(土)

午前9:30～

(2時間程度)

役場3階 議場にて

第2回

子ども議会

小学生、中学生の皆さんへ

粕屋町のことで「あなたが思っていること」「あなたが感じていること」を、こどもたち(小中学生)がおとなたち(町長や役場職員)に質問しますヨ!!

傍聴においでヨ!

参考までに、第1回子ども議会での役場への質問内容の一例を載せます。

2	1
お年寄りや目の不自由な方のために、信号機に「音」を設置されたらどうか?	粕屋町の特産品としてブロッコリーがある。 例えば、私達、小中学生のアイデアで「加工食品」や「ゆるキャラ」を商品化して粕屋町を町外にアピールしてはどうか?

リーダーとは

因・町長／信頼される人

中野 リーダーの適格条件をお聞かせください。

は思っております。

それから、決してそのことについては正直

であり、ぶれないとい

ております。

町長 一番にリーダーというものは信頼される人とする

の信頼される人と私は

思います。

町長が推進されるポトムアップをはかるときにためされますね。

中野 私の師は「的確な指針」と

「正当な評価」と申し上げております。

町長が推進されるポトムアップをはかるときにためされますね。

環境の良い町づくり、その指針・指標は

因・町長／花いっぱい運動であると

中野 私は環境に関心が高く、多くのポトムアップにつながる提案をおこないたいので、その指針を。

私は環境に関

心が高く、多

くのポトムアップにつ

ながる提案をおこない

たいので、その指針を。

(コスモス・ひまわり・菜の花) というものを

皆さまにお知らせしな

がら風光明媚な場所に

したいと思っております。

ロードをつくれればいい地域になるかと思っております。

中野 それでは次回その線でアイデアを出していきま

す。

町長 江辻で取り組んでいる環境

また、多々良川護岸を利用してのアジサイ

ぼた山に“カシスの杜”を整備しては

因・町長／三町の協議会で提案を



中野 敏郎 議員

因・都市政策部長

今回自然活用型業務委託契約を締結し、進めております。

中野 確かにもうぼた山自体が素

晴らしい風景をもって

いるからその方向でい

って欲しい。

かすや・しめ・すえ

からカシス等のベリー

類を植えて地域振興の一助・拠点にできないか。

町長

一応最小限の整備し、それを踏まえながら将来的な指針を考えていきます。



カワセミ 須恵川(甲仲原4丁目)で撮影



ぼた山の秋



本田 芳枝 議員

財政運営の今後の見通しは非常に悪い

因・町長／基金の取り崩しが多い

本田

9月議会では27年度の決算を審査する。

その数字を29年度の予算編成にどう活かすことができるのかを問う。

町長

粕屋町財政を考えるとしっかり事業をやるという予算編成のために、予算組を来年は枠配分方式でします。

所管がしっかり積み上げたものを精査していきたい。

本田

今の部長制がひかれたのは

平成22年4月だ。

部制導入に期待される効果として、各部署の枠配分による予算編成、部内での優先順位の自己決定などあげられていたが、実際には

今日まで実行されていない。

6月以降それぞれの部でどのような動きがなされたのか。

安河内・総務部長

説明会を受けてどういう予算に枠配分が行われるかということ職員が認識した上でまとめていきます。

因・都市政策部長

補助金、重要性、住民のニーズをどれだけ自分たちが感じ事業展開をしていくかを基調に取り組みます。

安川・住民福祉部長

まだ説明会がなされていないのでわかりませんが、それに対応できるだけの、今やっている事業、事務などについて精査をするように指示を出しています。

大石・教育委員会次長

やり方を今から示されるという説明があつていますが、ちよつと難しいものがあるかと思えます。

本田

今の状況ではとても厳しい

と思う。財政運営の今後の見通しは。

町長

基金の取り崩しが多く、非常に悪い状態にあると思います。

基金を初めから取り崩すというより、基金

の積み立てをどのようにするか今後はどういうし明確になると思いますが。

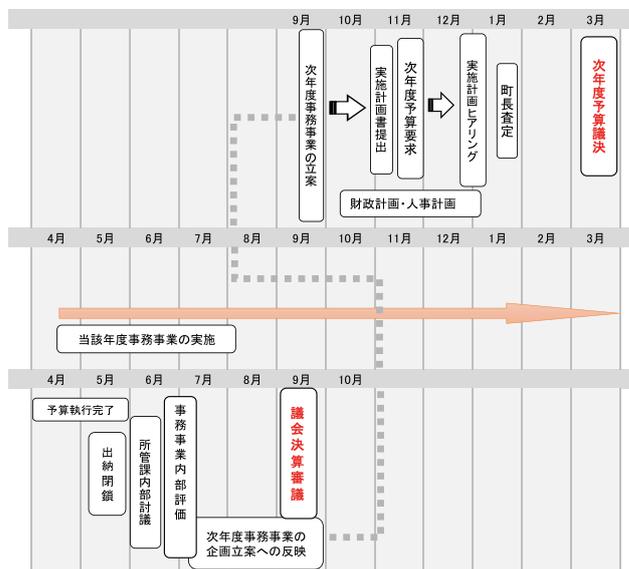
本田

粕屋町は税収の伸びが順調

で恵まれている。

偶然そうなったのではなく過去の蓄積があるからだ。今後より良いものに見守ることができる。

今までの粕屋町の予算編成の流れ



町立保育所の建て替えと待機児童解消を

因・町長／待機児童解消は老朽化した保育所新設で

田川 町が公的責任を持ち、保育

所の待機児童解消のため、質も量も充実した保育指針の作成が必
要だ。

町長 待機児童対策は老朽化した

保育園を新設しながら解消する。

田川 老朽化した町立保育所の建

て替え計画について、公共施設整備計画による現時点での進捗状況の説明を。

安川・住民福祉部長

民営化するのかという具体的なことにつきまして、今後個別計

画を策定するなかで、子供たちの命を預かることを肝に銘じながら、十二分に検討していく。

田川

他職種より10万円低い保育士の給料アップと正職員率の引き上げを。

住民福祉部長

保育士確保のために29年度も、何らかの手当てを上げることなど検討して処遇改善に努める。

田川 町立幼稚園の3年保育は国の方針であり、クラス30人編成の実施と併せて教室の増設を行い、

30人編成でゆとりある教育環境が求められるが、粕屋町は子供が増えているので、35人編成を維持していく。

住民福祉部長

正職の教員を適正配置して実施を。



建替えが必要な町立保育所



田川 正治 議員

小中学校の校納金を銀行口座振込みで

西村・教育長／来年4月から実施できる方向で頑張る

田川 私が一般質問をし、議会で

請願が可決された小・中学校の校納金を、銀行口座振り込みで徴収することについて、校長会での審議の経過は。

教育長

現在金融機関と調整をしており、年度内に道筋を決めて、来年4月から実施できる方向で頑張っている。

田川

福岡市でも実施している入学期の就学援助費を、3月に前倒して支

払うことを3月議会で提案した。

実施するための検討は。

大石・教育委員会次長

入学前の転出者の還付など、検討課題は残るものの、福岡市や北九州市の実施状況や支給方法などの情報収集に努め、今後検討する。





太田 健策 議員

給食センター6月質問について

因・町長／アドバイザーを活用しながら運営

太田 交付金の申請額が決まらないと申請できないのかと、今までこんな事例があったのですか。

また交付金については町民の負担になるんですか。

町長 交付金の申請は5月に概算で出して、後で修正して本申請になります。

他の所管のほうでは一切ありません。

今のところは基金を取り崩して財源に充てております。

室長の交代に際して、28年度再申請分、29年度の前倒しで申請させています。

太田 遅延損害金1億8,500万円

の損害賠償の請求があつていますが今現在の状況は。

石山給食センター準備室長

顧問弁護士に依頼し、精査しています。

今のところ8,697万円程度の減額となっております。

太田 今後15年間も管理していく

為に専門分野のわかる人の配置は。

町長 今後はしっかりと

つけて、アドバイザーを活用しながら運営していきたい。

太田 平成27年度の廃棄物処理についてどうなっていますか。

給食センター準備室長

(株)九電工は172tで金額で約210万円、西松建設(株)は約1,962tで金額は4,435万になつておりますが、いま一度

確認してから支払いをするようになります。

太田 平成28年度の廃棄物についての現在までの報告は。

給食センター準備室長

西松建設は8月以降は予定はございませんが、九電工は来年の三月まであります。

二社の合計は約873tで約1,752万円です。



ふれあいバス

社会福祉協議会の運営と補助は

安川・住民福祉部長／介護福祉課で精査していきます

太田 社会福祉協議会の運営と補助金について算出方法、職員の配置、福祉バスの運行について。

住民福祉部長

吉武・副町長

補助金については、事業規模、事業内容も

違いますので、人口規模では判断できません。介護福祉課で精査していきます。

界にきているので、コミュニティバスとかで検討委員会を設置して考えていきます。

今の福祉バスで賄えるかという点、もう限

全ての赤ちゃんに聴覚検査を

安川・住民福祉部長／今後調査検討を進めます

木村 生まれて間もない赤ちゃん

の耳の間こえ具合を調べる聴覚検査。

我が町での実施率及び現状は。

住民福祉部長

実施率89%です。

中小原 健康づくり課長

実際自分のお子さんが受けたかどうかかわからないというようの方が多いいということですね。

木村 町は新生児聴覚検査の紹介は行っているのか。

健康づくり課長

住民福祉部長

聴覚検査だけにかかわらず、いろいろな検査などのご案内と連絡、お知らせはやっております。

今後も終始啓発を行いながら、国、県の動向も踏まえながら、調査検討を進めます。

木村

人とのコミュニケーション

は孤立を防ぎ、その後の人生を左右する。だからこそ早期発見が重要。

費用面が壁になって

検査を受けないと判断する母親も少なくなっています。

5000円のクーポンなど少しでも安くなることで実施率を伸ばせると思うが。



木村 優子 議員

ふれあいバスの今後は

吉武・副町長／見直しを考えていきたい

木村

平成26年9月議会で行った再質問。

2年経ったが、どのような検討をなされたか、内容と結果については。

安川・住民福祉部長

協議会の中では、これ以上福祉バスの拡充は難しいのではないかと、違った方向で検討すべきではないかという提言も出ております。

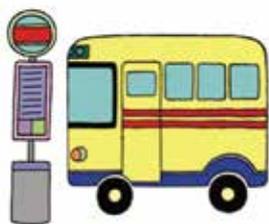
副町長

町としてもふれあいバ

スは過渡期に来ているというので、見直しを考えていきたい。

木村

町民が便利でかつ町が潤うような地域交通計画に早期に取り組んでほしい。





川口 晃 議員

JR駅や私立保育園等と法的義務との関係は

因・都市政策部長／JR駅の関係ではエレベーター等の新設は義務に！

四

差別解消法の第3条は「障害を理由とする差別の解消の推進に関して、必要な施策を策定し、及び実施しなければならない」と定め、法的義務を地方公共団体に要請しています。

法的義務との関係で疑問がある施設が二つあります。一つはJR駅舎の問題。

二番目は私立の幼稚園と保育園。非常に公共性が強い。

都市政策部長

平成18年12月にバリアフリー新法ができて、その中の規定という事になります。

例えばJR関係の駅。エレベーター、多目的トイレ、券売機の改修等々の新設については義務になります。

安川・住民福祉部長

町の施設ではないから関係ないという事ではなく、当然安全安心の環境を提供するという観点からされるべき配慮ではないかと考えています。



袖須駅 駐輪場・駅舎

かすやドーム側に駐車場の増設を

西村・教育長／駐車場の増設は慎重に考えたい

四

かすやドームを利用しての大会等でドームの駐車場間で間に合わない大会は何日くらいありますか。

中・大型のスポーツ大会が開かれると、サンレイク・役場側の駐車場が使用されて、サンレイクで行事している参加者が使用できない状態が慢性化しています。

ドーム側の駐車場は何箇所、収容台数は何台位ですか。

教育長 昨年の10月から今年の9月までの1年間の累計は、26件。月平均2件程度です。

駕与丁公園ドーム横129台、駕与丁公園管理棟周辺88台、駕与丁公園の公民館前57台、グラウンド周辺114台、合わせて388台です。

川

ドームが129台、管理関係の所が88台。

ドームを利用される方はそこを使われるでしょう。

もともと駐車場の台数が少ないのでは。



かすやドームの駐車場

その他の質問

町内の空家・空地に関する問題

証明書のコンビニ交付開始時期は

藤川・総合窓口課長／導入を前向きに検討したい

安藤 平成22年7月
粕屋町が日本

の全自治体に先駆けてインターネット型総合窓口サービスがスタートしました。

高い知能でのデータ処理能力がコンピュータシステムで集中管理された事、合わせて優秀な職員の方々によって実現出来た事と思います。

あれから6年が経過し今後の再構築、コンビニでの住民票等の交付・フォローアップ体制・情報化推進組織の考えは。

安河内・総務部長

マイナンバー制度対応の為に業務システムの改修を行っています

す。

新たな制度に対応する為の協議や運用準備を進めています。

総合窓口課長

自動交付機の契約が近々満了を迎える。

マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスを導入する事により、さらなる町民サービスの充実が図れると考えます。



現在稼働中の自動交付機



安藤 和寿 議員

問題が発生した対策の考えは

因・町長／再発防止を図らなければなりません

安藤 学校給食調理場建設に関わる問題が発生しております。

2度と起こさないとこの対策について。

町長 昨年からの廃棄物問題や交付金問題等が次々に発覚している。

現在調査中であり事実関係を正確に把握した上で、最終的に判断したい。

安藤 行政改革の必要性も感じますが、外部からの人材登用(第三者機関)の

考えは。

町長 行政事務手続き等に関して十分な知識が不足、チェック機能も十分で無かった事も事実であり、今後は、現在の監査制度とは別に包括または個別の外部監査制度を導入する事を検討しようと思っております。



久我 純治 議員

待機児童に対する町へ6つの提案

因・町長／ 老朽化保育園は建て替えを検討しています

久我

仲原保育所を改築し、定員を増すことで、待機児童の解消を。

町長

建物の老朽化が先で、安全の面から改修は考えておりません。

仲原保育所の土地は仲原小学校に移行し、外部に保育所を建てます。

久我

県の基準を満たした小規模保育施設を認可しては。(連携保育所の問題だけだと思います。)

堺課長

公平性の観点から一箇所だけは認めたくない。

園長会においても連携保育所になりたくない。自力で開設したい業者が連携保育所を見つけないといけない。

認定こども園の思いは案として聞くが色々な方法で部長会議等で決定していきます。

久我

定員150名程の認可保育所を新設してはどうか。(町立保育所を民営化でなく独自で借地してつくる。)

町長

優先順位は待機児童対策でなく、町立2園の建物の老朽化です。人の命を預かる部分でしっかりした形で子供を預る思いで建替を考えています。

久我

中央保育所と中央幼稚園を一体化して認定こども園にしては。

町長

老朽化した町立2園を災害がある前に早急に建て替えたというのが本音です。認定こども園の思いは案として聞くが色々な方法で部長会議等で決定していきます。

将来は町立とし、1園を残し、少子化に備えて残り町立2園は、認可保育所に園児のみ移行し、土地は町有地として残す。

久我

小規模保育所が多く出来れば私立認可保育所は少子化の時のことを心配する。町はまず老朽化した2保育所を建て替える事が優先事項です。

町長

町立保育士確保のため嘱託・臨時職員の何らかな処遇改善をしては。

久我

保育士の確保は依然難しい。引き続き29年度当初予算は、賃金面を含め処遇改善を検討していきたいと考えています。

課長

引き続き29年度当初予算は、賃金面を含め処遇改善を検討していきたいと考えています。



老朽化した中央保育所



中央小学校の敷地内にある中央幼稚園

学校給食調理場建設の問題点は

石山・給食センター準備室長／町民に対する背信行為

小池 ごみ処理場跡に建設するわけ

で、当然、基礎工事において、産業廃棄物が発生するわけで、管理型処分場への処理が義務づけられており、なぜ予算計上されず工事着工したのか。

ます。

担当職員として町がすべき事務事業は中途半端のまま、コンプライアンスを無視した結果がこのような事態を招いたと思っております。

石山・給食センター準備室長

工事をする際は、廃棄物処理法と土壌汚染対策法の規定に基づき、土地の形質変更届出書を提出しなければなりません。

当時の担当者ではございませんので、私の予測になりますが、やはり当時の執行体制と職員の資質に問題があったと考えており

小池 廃棄物処理費が8,000万円を超えることが判明し、安全確認や住民への説明のため、工事を一時中断しました。

業者より遅延損害金の申し出があり、業者が負担すべき材料の変更増額分を当時の担当職員が、人件費に乗せようとするようなアドバイスを行う行為は、町職員としてあってはならない。

給食センター準備室長

結論から言えば言語道断で、町及び町民に対する背信行為であると思っております。問題なのは管種を変更したことによる材料代の差額が発生し、金額で税抜き284万円を今回、工期変更に伴う増額費用に割り振って計上するよう、町の

当時の担当者が勝手に今年3月、SPCに対し指示しております。事実関係についても業者と本人に確認をしております。

小池

本来この事業は国の交付金、私が聞いている金額では



小池 弘基 議員

1億8,500万円が出ることで始めた事業ということですので。職員の申請忘れて、もらえないということ実は事実か。

給食センター準備室長

この交付金は、正式には文部科学省所管の学校施設環境改善交付金と言います。

平成28年度当初予算に係る交付金については、昨年6月調査時に書類が意図的に提出さず、残念ながら不採択の結果となっております。



新給食センター工事の様子

その他の質問

九州大学原町農場の跡地利用について



山脇 秀隆 議員

非営利の活動団体の立ち上げを

因・町長／時間をかけて検討していく

山脇 粕屋町のスポーツ振興をどのように考えているのか。

新宅・社会教育課長

① 様々なスポーツ活動に参加できる環境整備

② かすやドームを中心とした活動機会の提供

③ 幼年期から高齢者まで楽しめるよう支援

山脇 ハード面ソフト面とお金がかかるがその支援は。

大石・教育委員会次長

① 指導者に対する謝金制度

② 大会参加助成制度

③ 技術・技能向上に向けた講習会等

山脇 今後の人口増一人一スポーツ

ツを目指すうえで支援の在り方は。

町長 社会教育課と連携しながら体育協会と協議していきます。

山脇 お金をかけないでどのよう

にスポーツ振興していくのか考えなければならぬ。

他市町にみる非営利団体の立ち上げに町の協力が必要。

町長 方向性を見極め、議論し、

支援していきます。

社会教育課長

NPO法人や一般社団法人などを組織するか既にある団体や法人

職員の意識改革は

因・町長／来年4月から取り組みます

山脇 町長が求める職員の意識改革は

どこまで進んでいるのか。

町長 来年4月から

枠組み予算編成を行うことで職員のやる気を喚起します。

山脇 各課における専門知識の取り組みは。

安河内・総務部長

職員の業務知識習得については、毎年希望

などに委託するかなど、各種団体と協議しながら検討していきたいと思えます。

者を募って知識の習得に努めています。

因・都市政策部長

職員人事評価規定により意識改革を行っています。

安川・住民福祉部長

可能な限り研修に参加し意識技能の向上を目指しています。

大石・教育委員会次長



かすやドームで行われる卓球大会

担当者会などの情報収集で専門的な知識の向上に努めています。

山脇 専門職を育成する人事異動の考え方があがる。

町長 住民サービスのための職員の増員が必要であれば

おこないたい。

総務部長 人事異動の内容等

については参考にしていきます。

豊かな心と確かな学力を持ち、健康でたくましい子どもの育成
(なかよく かしこく がんばる子)



なかのよい子

- ①「学級存在感」(所属感)を持ち、友達の気持ちを大切にできる子ども
- ②すすんであいさつができる子ども
- ③掃除を通して、清潔な環境のよさがわかり、自分の心も磨ける子ども

かしこい子

- ①「自己有用感」を持ち、意欲的に学び、粘り強く学習する子ども
- ②自分の思いや考えを表現できる子ども
- ③相手の話をよく聞き、積極的に交流できる子ども



がんばる子

- ①「自己肯定感」を持ち、目標に向かって挑戦し、やり遂げようと努力する子ども
- ②健康の大切さや運動の楽しさを知り、すすんで運動する子ども
- ③早寝・早起き・朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身につけた(健康を意識できる)子ども

確かな学力

健康でたくましい子ども

豊かな心

仲原小

本年度の重点目標：学び合い、高め合い、支え合える子ども
＝学力、体力、学級力の向上を通して＝

教育活動の充実

<p>挨拶運動</p> <p>赤ペン先生</p> <p>寺子屋</p> <p>家庭</p>	<p>心の教育プロジェクト</p> <p>気持ちの良い挨拶</p> <p>もくもく掃除</p> <p>きれいな歌声</p>	<p>学力向上プロジェクト</p> <p>交流活動を重視</p> <p>授業改善</p> <p>さめ細かな指導</p>	<p>体力向上プロジェクト</p> <p>体育の時間の充実</p> <p>食に関する指導の充実</p> <p>体力テスト</p>	<p>読み聞かせ</p> <p>仲原小フェスタ</p> <p>仲原っ子学習会</p> <p>地域</p>
---	---	---	--	--

発行責任者：議長 進藤 啓一
 編集委員長：小池 弘基
 編集副委員長：木村 優子
 委員：福永 善之
 委員：太田 健策
 委員：安河内勇臣
 委員：川口 晃

お詫びの掲載

141号、8ページの議会報告会における質疑応答の記事で、「光が当たらない人」という不適切な表現がありました。
 議会広報として配慮が欠けていたことをお詫び致します。
 今後はこのようなことが無いよう、十分に注意しながら発行していきます。

このページの記事担当は、太田 健策でした